

---

## 安全データシート (SDS)

---

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ポリッシュマン・ザ・コンパウンドX5ワイドレンジ  
整理番号 : HJK3070  
会社名 : 株式会社本荘興産  
住所 : 岡山県倉敷市児島塩生 2764  
電話番号 : 086-475-0950 / F A X 番号 086-475-0952  
作成日 : 平成 30 年 01 月 11 日  
製品説明 : 塗装面用ツヤ出し研磨剤 (業務用)

---

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

[健康に対する有害性]

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類できない
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 1 (肺)
吸引性呼吸器有害性	分類対象外

#### 【GHSラベル要素】

[GHS絵表示]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

発がんのおそれの疑い

長期又は反復ばく露による肺の障害

<使用上の注意>

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【救急処置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

子供の手の届かないところに施錠して保管する。

容器を密閉し直射日光を避け、涼しく換気の良いところに保管する

【廃棄】

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

● 単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分	含有量(%)	化審法 No.	CAS. No.	労働安全衛生法
炭化水素系溶剤	10.0~20.0	登録済み・非開示	64742-47-8	
灯油	1.0~5.0	(9) -1702	8008-20-6	表示、通知物質
酸化アルミニウム	10.0~20.0	(1) -23	1344-28-1	表示、通知物質
含水ケイ酸アルミニウム	5.0~10.0	対象外	1332-58-7	
グリセリン	1.0~5.0	(2) -242	56-81-5	
界面活性剤	1.0~5.0	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
研磨潤滑剤	2.0~3.0	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
増粘安定剤	1.0以下	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
防腐剤	微量	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
水	残部		7732-18-5	
合計	100.0			

---

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合

- 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  - 医師の診断、手当てを受けること。

- 皮膚に付着した場合

- 汚染された衣服を脱ぐこと。
  - 皮膚を直ちに石鹼で洗浄すること。
  - 刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
  - 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。

- 目に入った場合

- 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外すこと。その後も洗眼を続けること。
  - 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

- 飲み込んだ場合

- 口の中を水で洗って、医師の診断、手当てを受けること。

- 予想される急性症状及び遅発性症状

- 吸入した場合：咳、めまい、頭痛、吐き気、息切れ。
  - 皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥、発赤、かゆみ。
  - 目に入った場合：発赤、痛みかゆみ眼。
  - 飲み込んだ場合：腹痛、吐き気、嘔吐。
  - 遅発性症状：化学性肺炎

- 最も重要な兆候及び症状： 情報なし

- 応急処置をする者の保護： 救助者は、状況に応じて適切な保護具（有機溶剤用の防毒マスク）を着用する。

---

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤

- 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
  - 大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

- 使ってはならない消火剤

- 情報なし

- 特有の危険有害性

- 火災に巻き込まれると、水分が蒸発し引火性可燃物となり、蒸気は空気と爆発性混合気体を形成する恐れがある。
  - 加熱により容器が爆発するおそれがある。
  - 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

- 特有の消火方法

区域より退散させ、爆発の危険性により遠くから消火する。

作業は風上から行うこと。

初期消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水すること。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

- 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。

- 保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。

関係者以外の立入りを禁止すること。

作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸引を避けること。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用すること。

風上に留まること。

低地から離れること。

密閉された場所は換気すること。

- 環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。

環境中に放出してはならない。

- 回収

少量の場合はウエス等で拭きとり、その後漏洩区域を大量の水で洗い流す。多量の場合は土砂等で流れを止め出来る限り回収し、残分はウエス等で拭きとり、その後大量の水で洗い流す。

- 二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取り除く。（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 技術的対策

ばく露防止対策：取扱いは、換気の良い場所で行うこと。

取扱い場所近くに、緊急時に、洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置すること。

漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させないこと。

発散した蒸気を吸い込まないようにすること。

屋外での作業は、できるだけ風上からすること。

取扱いの都度容器は密栓すること。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。

取扱い後は、手、顔等を良く洗いうがいをする事。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用をさけること。

● その他の注意事項

容器の転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で行うこと。

● 安全取扱い注意事項

炎、火花、若しくは高温体との接触又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。

● 保管

子供の手の届かないところに施錠して保管すること。

直射日光の当る所、温度が40℃以上又は0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。容器を密閉して正立で保管すること。

火気、熱源より遠ざけること。火気厳禁

車載保管しないこと。

● 容器包装材料

防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

● 管理濃度

設定されていない

● 許容濃度

設定されていない

● 設備対策

取扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示すること。

● 保護具

呼吸器の保護具：有機溶剤用防毒マスク

手の保護具：ゴム手袋

眼の保護具：ゴーグル型一眼鏡

皮膚及び身体の保護具：作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用  
衛生対策：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後は石鹼でよく手を洗うこと。

---

#### 9. 物理／化学的性質

外観・臭気	：	白色のO/W型エマルジョン液体で穏やかな特異臭を有する。
pH	：	8.0～8.5
粘度（25℃）	：	1,500～2,500 mPa・s(B形 30rpm)
沸点	：	データなし
凝固点	：	データなし
揮発性	：	データなし
引火点	：	明瞭な引火点なし(タグ密閉)
発火点	：	データなし
爆発範囲	：	データなし
密度（25℃）	：	1.1～1.2
溶解性（水）	：	自由に分散混和するが放置すると分離性を有する。

---

#### 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の条件では安定である。
  - 反応性 : 強力な酸化剤、高温で爆発や燃焼する。
  - 避けるべき条件 : 高温、火花、裸火
  - 混触危険物質 : 酸化剤
  - 危険有害な分解性生物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、亜硫酸ガスを発生する。
- 

#### 11. 有害性情報

急性毒性	：	データなし
皮膚腐食性・刺激性	：	データなし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	：	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	データなし
生殖細胞変異原性	：	データなし
発がん性	：	データなし
生殖毒性	：	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	：	データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	：	データなし
吸引性呼吸器有害性	：	データなし

---

#### 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：データなし

水生環境慢性有害性：データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

---

### 14. 輸送上の注意

注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国際規制：

国連番号：該当なし

国連分類：—

容器等級：—

指針番号：—

国内規制

陸上輸送：消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

---

### 15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を表示すべき有害物(法第 57 条) 酸化アルミニウム、灯油

名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2) 酸化アルミニウム、灯油

消防法：該当なし

毒物及び劇物取締法：該当なし

P R T R 法：該当なし

---

### 16. その他

主な引用文献：

1. 各原料メーカーの MSDS、SDS
2. 安全衛生情報センターMSDS、SDS
3. JIS Z 7252、7253
4. その他法規

記載内容の取扱い : 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。